

2026年度 学生相談室【後楽園キャンパス】

<嘱託相談員> 精神科医、心理カウンセラー

氏名	相談曜日・時間	相談領域	メッセージ
佐藤 孝紀 (精神科医)	火曜日 10:30~14:30	精神保健	身体、心、身の回りの環境。 健康であるためにはどれも大切です。 悩みは人それぞれ、気軽にご相談ください。
三橋 裕子 (精神科医)	金曜日 10:00~14:00	精神保健	調子の悪さは自覚しづらいことが多いものです。何をどう話したらいいか等迷う必要はないので、足だけ運んでください。
先崎 京子 (心理カウンセラー)	月曜日 10:00~14:00	心理 性格 対人関係	大学生活では、自分で判断して行動することが今までより多くなっていくのではないかと思います。悩んだり困ったりする時もあるかもしれません。それは悪いことではなく、良い成長の機会にもなります。どうぞ気軽に相談室に来てください。
野島 美穂 (心理カウンセラー)	水曜日 10:00~16:00	心理 性格 対人関係	自分の力で頑張ることはとても大事なことでありますが、人に頼ることも健やかに生きるのには同様に必要なことです。何か行き詰まりを感じたら、ぜひ思い出して下さい。
大沢 辰明 (心理カウンセラー)	木曜日 11:00~17:00	心理 性格 対人関係	一人で考えていると些細なことでも悩みすぎてしまうことがあるかもしれません。また、一つ一つは大したことないと思っても、一度に重なってしまうと負担になることもあります。「こんなことで相談してもいいのかな?」と少しでも気になることができれば、気軽に相談室のドアをたたいて下さい。一緒に考えていきましょう。

<教員相談員>

氏名	相談曜日・時間	相談領域	メッセージ
西岡 英俊	月曜日 1限	・進路 (企業研究者としての道) サークル活動・部活動 (大学時代はスキーサークルで運営と選手活動を満喫しました)	<p>【高校時代】 水泳部で真っ黒で精悍な若者でした。今の姿からは想像できないでしょうが、</p> <p>【大学時代】 スキーをやりたくて大学を選びました。「基礎スキー」と呼ばれる滑走技術を競う種目に熱中していました。夏は必死にバイトして貯金して(最高月収30万円)、冬は毎日ナイターで滑ってスキー三昧の生活で、6年間の総滑走日数は600日となりました。1級の上の上の資格(クラウン)を取って、東北地区の学生大会で最高順位2位になりました。</p> <p>水泳もスキーも個人競技ですが、自分でトレーニングメニューを考えながら、創意工夫して技術を向上させていくプロセスがとても楽しかったです。特にスキーは、初めて滑ったのが中学校の修学旅行だったのですが、子供の頃から滑っている地元の選手に「頭でじっくり考えて努力して勝つ」ことができたのはとても嬉しかったです。</p> <p>【進路選択】 そのままスキーを仕事にしようかとも悩んだのですが、大学院に進学したら、研究も水泳やスキーと同じように自分で工夫していくことがとても楽しく感じて、研究で飯が食えるようになったら幸せだなと思うようになりました。(スキーで飯を食うという点では、夏の生活基盤がしっかりしている地元の選手の方が極めて有利だったということもありました)。</p> <p>【企業研究者への道へ】 運よく鉄道総合技術研究所に就職することができ、企業研究者としての道を歩み始めました。大学での研究よりも、より現場に近い研究開発ができたことはとても楽しかったです。特に自然災害発生後の緊急出動の機会も多く、自分の技術が誰かの役に立っていると実感できたことは幸せでした。18年の研究所生活を経て、2019年から中央大学に着任しています。</p>
早川 健	火曜日 3限	学生生活全般	現在の専門は、マイクロ・ナノロボティクスと、そのバイオメディカル応用です。 学部生と大学院修士の時は理学部物理学科、 会社に就職してからは電気系のエンジニアとして勤務し、 機械系の研究室に博士課程の学生として進学した経験があります。 学生生活の相談ではどこまでお役に立てるか分かりませんが、勉強や研究に関するキャリアについては何かしら相談に乗れるかと思っておりますので、よろしくお願いします。
久保田 彰	水曜日 5限	学生生活全般	学部・大学院・ポスドクの各段階で国内外の研究室を経験し、音響および画像処理の研究に取り組んできました。現在は、マルチメディア情報を理解・認識し、その利用価値を高めるための深層学習に関する研究を幅広く行っています。これまで研究は主に個人で進めてきましたが、その過程で、研究は本質的に孤独な作業である一方で、他者と成果を共有し、議論を重ねることで、より大きな価値を生み出せることを実感してきました。また、研究成果は発表してこそ意味を持ち、他者との対話を通じてさらに発展していくものだと考えています。私自身、人と関わることに苦手意識を持ち、悩んだ経験があります。しかしその経験を通じて、充実した研究生生活を送るためには、他者との関わり方を少しずつ築いていくことが重要であると学びました。研究の進め方や研究室での人間関係など、どのようなことでも構いません。困っていることがあれば、気軽に相談してください。一緒に整理し、より良い方向を考えていきましょう。